

平成 23 年度財団法人米子市勤労者福祉サービスセンター事業計画

○ 基本方針

市内中小企業に従事する勤労者の福祉の向上を図り、雇用の安定化や職場の活性化を通して、地域経済の発展に寄与するという目的に立ち事業を進めています。多様化する会員のニーズに応じた福利厚生事業の充実・改善に努め会員満足度の向上を図るとともに、西部地区の未加入事業所への積極的な PR 活動を行うなど、会員拡大に取り組みます。

1. 健康維持増進事業 予算額 7,940 千円

会員の健康の維持増進を図るため、健康管理に関する事業を行う。

①健康診断受診助成

①健康診断受診助成	①健康診断受診助成
一般健診	@5,000×1,000 人=5,000 千円
白鳥健診	@5,000×300 人=1,500 千円
その他の健診	@5,000×20 人=100 千円
人間ドック	@10,000×30 人=300 千円

②健康管理事業

- ・ 遺伝子検診サービス事業
- ・ インフルエンザの予防接種助成事業他

③スポーツ大会運営事業

- ・ 親睦ゴルフ大会、親睦ボウリング大会の開催

④病気予防も含めた薬品類の斡旋

2. 在職中の生活安定事業 予算額 8,191 千円

①慶弔共済給付事業：全労済協会

給付事業として、結婚・成人・還暦・出産・入学（小・中）祝金、傷害・傷病・住宅災害見舞金、死亡弔慰金の給付を行う。

	件 数	給付額
結婚祝金	15 件	150 千円
出産祝金	15 件	150 千円
入学祝金（小・中）	80 件	400 千円
成人祝金	5 件	50 千円
還暦祝金	55 件	550 千円
永年勤続祝金	155 件	1,300 千円
傷病見舞金 傷害見舞金 住宅災害見舞金	25 件	550 千円
死亡弔慰金	60 件	650 千円
合 計	410 件	3,800 千円

- ②生活資金融資斡旋事業：中国労働金庫米子支店（ガイドブック掲載）
金融機関と連携し、教育、住宅、カーライフ、多目的ローンの情報提供および斡旋を行う。
- ③老後の生活安定事業（ガイドブック・会報掲載）
中小企業退職金共済制度の普及促進のため、共済団体と連携し、情報提供および斡旋を行う。
- ④生活安定事業：東京海上日動（ガイドブック・会報掲載・チラシの配布）
全福センターの「全福ネット入院あんしん保険」の団体医療保険の情報提供および斡旋を行う。

4. 自己啓発助成事業 予算額 420 千円
勤労者の自己啓発等を助成するための補助を行う。

- ①各種資格取得時費用助成事業
 - ・ 助成額 @3,000×40
- ②文化教養事業等の事業
 - ・ 料理教室、フラワー教室他
- ③通信講座等受講割引

5. 余暇活動助成事業 予算額 3,500 千円
会員の余暇活動の充実を図るため補助を行う。

- ①パック旅行補助事業（指定エージェント利用）

一般旅行（1泊2日以上）	@5,000×150人=750千円
満55歳以上の熟年夫婦旅行	@5,000×10人=50千円
米子空港利用韓国旅行	@5,000×20人=100千円
- ②イベント事業
 - ・ プレゼント企画、忘新年会企画、グルメ企画他
- ③利用補助事業
 - ・ 旅行会社主催の旅行補助、果物狩り割引補助、中元・歳暮斡旋他
- ④チケット助成事業
 - ・ 美術展、各種コンサート、ビアガーデンチケット、プロ野球チケット他

6. その他の事業 予算額 1,964 千円

- ①ガイドブック（年1回発行）、センターニュース（年4回発行・臨時号）
- ②ホームページによる情報提供
- ④会員加入の報償費
- ⑤その他

7. その他

- ①指定店の割引利用（ガイドブック・会報掲載）
- ②中・四国、山陰地区の中小企業勤労者福祉サービスセンターとの共同事業
 - ・ 各地区のサービスセンターとの情報交換、共同事業により経費削減を図る。
- ③その他

8. 勤労者福祉対策推進に関する受託事業 予算額 8,000 千円

- ①新規事業所加入推進業務
- ②新規指定店の拡充業務
- ③その他サービスセンター事業の普及に関する業務